

令和2年度 事業報告書

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

一般財団法人 高銀地域経済振興財団

1. 実施事業の概要

令和2年度事業計画に基づき以下の事業を実施した。

(1) 地域社会の振興や地域経済の活性化につながるような取組みを実施している団体等に対する助成や支援、情報の提供等を通じて、地域の発展に貢献することを目的とする事業

- ① 令和元年度の実施事業として、学術および科学技術の振興に取り組む方を対象に、地域経済の振興と地域社会の発展につながるような研究課題等を公募し、応募いただいた方の中から選考のうえ助成金の贈呈が決定していた高知県立大学准教授川上理子氏に対し、令和2年4月2日に助成金200千円を贈呈した。
(高知県立大学の助成金受入れに係る事務年度調整のため令和2年度に支出)

- ② 高知県内各市町村の神社等に現存する「土佐絵馬」に関する情報を、高知放送のラジオ番組を通じて広く発信し、その土地の歴史や文化、産業など、地域の暮らしを読み解くカギとなる物語等の情報を提供することで、伝統的文化の普及を通じて地域に貢献するため、令和2年5月8日に支援資金660千円を支出した。

- ③ 中小企業の健全経営に寄与することを目的に、高知県内中小企業者に対する事業承継・相続対策支援や経営改善支援事業に取り組んでいる一般社団法人ビジネスサポートこうちに対し、令和2年5月21日に支援資金500千円を支出した。

- ④ 高知県内の魅力ある優れた加工食品を全国にアピールし、県産品の消費や販路の拡大、さらには高知県経済の活性化につながるようなビジネスチャンスの場を提供することを目的とした商談会「地方創生『食の魅力』発見商談会2020 データベース商談会」に参加を希望する地元企業を公募した。

応募のあった下記の出展事業者は、2020年8月1日から2020年12月30日までの期間中に Web 商談会を実施しており、助成金額は実施した商談回数が1回の場合は5万円、2回は6万円、3回は7万円、4回は8万円、5回以上は9万円とし、合計27先に対し総額160万円の助成金を令和3年2月15日に贈呈した。

共同商談会への出展事業者	住所	商談回数	助成金額
(株)四国健商	高知市新田町 20-32	5回	9万円
高知県特産品販売(株)	高知市新田町 14-14	1回	5万円
(株)スウィーツ	南国市物部 272-1	2回	6万円
(有)海昇	高知市弘化台 6-3 2階北	1回	5万円
(同)土佐あぐりード	高知市若松町 1-7	2回	6万円

(株)堀	高知市春野町東諸木 1445	3 回	7 万円
フクチャン FARM 山下龍造	安芸郡東洋町大字河内 362-1	3 回	7 万円
(株)土佐力舎	室戸市羽根町乙 3209-327	5 回	9 万円
(有)おかばやし	香美市香北町美良布 1347-1	1 回	5 万円
(同)高知カンパーニュブルワリー	香美市土佐山田町栄町 2-29	1 回	5 万円
(株)末広	土佐郡土佐町田井 1353-2	3 回	7 万円
(有)高知アイス	吾川郡いの町下八川乙 683	1 回	5 万円
(有)竹内商店	土佐市宇佐町宇佐 2824-3	1 回	5 万円
(株)ツボイ	吾川郡仁淀川町竹ノ谷 887-1	3 回	7 万円
(株)ビバ沢渡	吾川郡仁淀川町別枝 606	3 回	7 万円
(株)フードプラン	吾川郡仁淀川町土居乙 199-1	1 回	5 万円
(株)けんかま	須崎市下分乙 805-1	1 回	5 万円
野島水産 野島善隆	須崎市桑田山乙 1225-24	1 回	5 万円
宮進商店 宮本進太郎	須崎市南古市町 4-6	1 回	5 万円
桜 Club 中越孝子	高岡郡梶原町川井 7199-6	1 回	5 万円
四万十うなぎ販売(株)	高知市一宮中町 1 丁目 14-40	2 回	6 万円
(株)ぶらうん	高岡郡四万十町土居 74	2 回	6 万円
土佐清水食品(株)	土佐清水市三崎 543	2 回	6 万円
峯本農園 峯本幸治	土佐清水市斧積 255	2 回	6 万円
(有)ヤマア	土佐清水市中浜 253	2 回	6 万円
(株)タナカショク	高知市布師田 1761	1 回	5 万円
(有)菱田ベーカリー	宿毛市和田 340-1	1 回	5 万円
合計 (27 先)		160 万円	

※ 参加企業からいただいた主な感想等は以下のとおり（順不同）

- ・ブランドの認知度向上が課題、Web 商談の件数が少なかった。
- ・初のオンライン商談会だったが 1 社あたりの商談コストが高く、また、バイヤーの多くは商談実績があり、敢えてオンライン商談とする必要性がなかった。
- ・初のオンライン商談会で勉強になった。
- ・大手メーカー等に主力商品のほか関連商品等の提案もでき、実績はまだないが、今後に期待できる。
- ・取引に結びついた。
- ・新商品開発も含め、今後に期待できる。
- ・安心、安全に対する意見が多く聞かれ、自社製品のこだわりに自信を持つことが出来た。ネット販売の有用性が認識できたので、通販事業を強化していく。
- ・安心、安全にこだわった原材料が評価され注目を集めたが、取扱いに注意を要することから、取引開始に向けたハードルはまだ高いと感じた。
- ・商談は 1 社のみだが、ヒアリングを踏まえて今後につなげていきたい。
- ・海外への販路拡大に期待する。

- ・バイヤーはギフト用商品の販売先として申し分ないが、価格面で改善の余地がある。
- ・自社の具体的な営業方針を明確化することで、より効果的な商談につなげていくことが可能になると感じた。今後に期待したい。
- ・成約には至らなかったが取引のなかったバイヤーと面談できた。万人受けする商品開発の必要性を感じた。
- ・初のオンライン商談会でトラブルもあったが、商談に結びつく前向きな案件があった。
- ・今回の商談を機に取引開始が決定し、成約率は高いと思う。バイヤー側から Web 商談を行う逆指名型の商談が有効的であると感じた。
- ・海外向けの商談があったが、関税等いくつかの問題点が明らかになった。
- ・オンライン商談会はあまり馴染みがなかったが勉強になった。資料や提供する画像等のバージョンアップに着手する。
- ・新たな販路開拓への気づきを得ることが出来た。商談における自社商品の P R 面を充実させる必要性を感じた。
- ・大手のバイヤーと面談できるメリットがあった。
- ・自社商品に関心を持っていただいたが、コスト面に課題がある。
- ・初のオンライン商談会だったが、スタッフのサポートも得られ、円滑に進められた。今後に期待したい。
- ・初のオンライン商談会だったが、会話のタイミングを掴むのに手間取った。
- ・初のオンライン商談会で、機器の操作に不慣れもあり戸惑ったが、取引開始につながった。
- ・事前準備不足もあって機会損失があった。
- ・オンライン商談の難しさを感じた。買い手市場になっており、自社が商談先として選ばれるための仕掛け対策が必要であると感じた。
- ・新たなバイヤーと商談できたので、フォローに取り組む。
- ・希望していたバイヤーと商談でき、いい機会であった。

- ⑤ 産学連携による共同研究やベンチャー企業の育成支援等を通じて、地域経済の振興と地域社会の発展に貢献することを目的に、高知県内の大学等が保有する特許や研究技術等を活用して事業を展開または創業する事業者の公募を行い、選考のうえ応募のあった下記企業に対し 30 万円の助成金を贈呈した。

助成企業	司牡丹酒造株式会社 代表取締役 竹村昭彦 様
対象事業	司牡丹酒造株式会社と高知大学で共同開発した酵母の発酵特性解析に特化した複合分離機構型イオンクロマトグラフィー（MF S-I C）を利用し、高知県工業技術センターの開発した優良酵母である A C-9 5 の最適な醸造条件を決定し、効率的な新酒の開発を行う。
実施日	令和 3 年 3 月 1 6 日

- ⑥ 高知県内事業者の各種商談会への出展支援を行うことを目的に、高知県産業振興計画に掲げる地産外商戦略の一環として、同商談会への出展支援を主導している一般財団法人高知県地産外商公社に対し、支援資金75万円を贈呈した(令和3年3月23日)。

高知県地産外商公社が令和2年度に取り組んだ主な商談会は下記のとおり

- ・スーパーマーケット・トレードショー2021(令和3年2月17日～19日)
- ・FOODトレードアシストパッケージ(令和2年10月7日～9日)
- ・第4回日本の食品輸出EXPO(令和2年10月14日～16日)
- ・ファベックス関西2020(令和2年10月28日～30日)
- ・FOOD STYLE 2020 in FUKUOKA(令和2年11月11日～12日)
- ・フードストアソリューションズフェア2020(令和2年11月18日～19日)
- ・県産品商談会①(令和2年10月27日)
- ・県産品商談会②(令和2年11月25日)

◇ネットワークを活用した産地訪問型オンライン商談会(実施回数25回、参加事業者数のべ262社:令和3年2月末現在)

◇高知家お取り寄せ・贈り物カタログ(発行日:令和2年10月1日、発行部数:9万部、販売期間:令和2年10月1日～令和3年9月30日)

- ⑦ 学術および科学技術の振興に取り組む方を対象に、地域経済の振興と地域社会の発展につながるような研究課題等を公募した。応募いただいた10名の方の研究概要について選考を行い、下記4名の方に助成金を贈呈することを決定(令和3年3月10日)、うち高知県立大学を除く3名の方に対し一人あたり各20万円宛、合計60万円の助成金を贈呈した(令和3年3月25日)。

助成対象者	研究内容
高知大学 准教授 今城 雅之 様	野見湾の養殖カンパチにおける連鎖球菌の薬剤感受性サーベイランス研究
高知大学 准教授 村松 久司 様	高知県産食品に含まれる抗疲労物質イミダゾールジペプチド量の見える可
高知県立大学 講師 島田 郁子 様	健康と減災を目指した持続可能な食とくらしの探求
高知工科大学 教授 山本 真行 様	中山間地域インフラサウンド遠隔災害監視システムの基礎開発

(2) 経済・産業動向や地域市場の調査及びその情報の提供

該当なし。

(3) 中小企業の経営改善に資する指導、教育、情報の提供、並びに企業診断

- ① 一般社団法人ビジネスサポートこうちとの共催による中小企業向けセミナーを四万十市で令和2年11月18日に開催。「コロナ時代に合った中小企業経営セミナー」をテーマに、中小企業の経営者や経理担当者など24名の方に参加いただいた。(事業費52千円、令和2年11月26日支出)。

(4) 公益的な団体等（地方自治体ならびに大学法人等）への寄付

該当なし。

2. 役員に関する事項

理 事	森 下	勝 彦 (理事長)
	和 田	廣 男
	海 治	勝 彦
	三 宮	昌 子
	成 瀬	洋
	田 村	忍
監 事	川 崎	真 二
評議員	森 下	洋 司
	小 松	正 義
	小 野	節 雄

(2021年3月31日現在、理事6名 監事1名 評議員3名)

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

科 目	令和2年度末	令和元年度末	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(普通預金)	11,374,408	8,169,888	3,204,520
流動資産合計	11,374,408	8,169,888	3,204,520
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(定期預金)	253,000,000	261,000,000	△ 8,000,000
(その他)	0	0	0
基本財産合計	253,000,000	261,000,000	△ 8,000,000
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	253,000,000	261,000,000	△ 8,000,000
資産合計	264,374,408	269,169,888	△ 4,795,480
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	264,374,408	269,169,888	△ 4,795,480
(うち基本財産への充当額)	253,000,000	261,000,000	△ 8,000,000
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	264,374,408	269,169,888	△ 4,795,480
負債および正味財産合計	264,374,408	269,169,888	△ 4,795,480

正味財産増減計算書

令和2年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	令和2年度	令和元年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	22,224	23,215	△ 991
定期預金利息	22,224	23,215	△ 991
その他	0	0	0
② 雑収入	107	79	28
普通預金利息	107	79	28
その他	0	0	0
③ 受取補助金等	0	0	0
④ その他(受取寄付金)	0	0	0
経常収益計	22,331	23,294	△ 963
(2) 経常費用			
① 事業費	4,682,600	7,558,480	△ 2,875,880
支払助成金	2,700,000	3,300,000	△ 600,000
支払寄付金	0	0	0
印刷製本費	0	78,825	△ 78,825
支払手数料	19,910	28,826	△ 8,916
その他	1,962,690	4,150,829	△ 2,188,139
② 管理費	75,211	101,926	△ 26,715
会議費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
図書新聞費			0
雑費	74,661	101,062	△ 26,401
支払手数料	550	864	△ 314
経常費用計	4,757,811	7,660,406	△ 2,902,595
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,735,480	△ 7,637,112	2,901,632
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,735,480	△ 7,637,112	2,901,632
法人税、住民税及び事業税	60,000	60,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,795,480	△ 7,697,112	2,901,632
一般正味財産期首残高	269,169,888	276,867,000	△ 7,697,112
一般正味財産期末残高	264,374,408	269,169,888	△ 4,795,480
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	264,374,408	269,169,888	△ 4,795,480

正味財産増減計算書内訳表

令和2年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	実施事業等会計						その他会計	法人会計	合計
	経1	経2	経3	寄1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0		22,224	22,224
定期預金利息								22,224	22,224
その他									0
② 雑収入	0	0	0	0	0	0		107	107
普通預金利息								107	107
その他									0
③ 受取補助金等	0	0	0	0	0	0			0
④ その他(受取寄付金)	0	0	0	0	0	0			0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	0	22,331	22,331
(2) 経常費用						0			0
① 事業費	4,610,000	0	52,690	0	19,910	4,682,600	0	0	4,682,600
支払助成金	2,700,000					2,700,000		0	2,700,000
支払寄付金				0		0		0	0
印刷製本費						0		0	0
支払手数料					19,910	19,910		0	19,910
会議費他	1,910,000		52,690			1,962,690		0	1,962,690
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	75,211	75,211
会議費						0			0
消耗品費						0			0
租税公課						0			0
図書新聞費						0			0
雑費						0		74,661	74,661
支払手数料						0		550	550
経常費用計	4,610,000	0	52,690	0	19,910	4,682,600	0	75,211	4,757,811
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,610,000	0	△ 52,690	0	△ 19,910	△ 4,682,600	0	△ 52,880	△ 4,735,480
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
① 固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
① 固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,610,000	0	△ 52,690	0	△ 19,910	△ 4,682,600	0	△ 52,880	△ 4,735,480
法人税、住民税及び事業税								60,000	60,000
当期一般正味財産増減額	△ 4,610,000	0	△ 52,690	0	△ 19,910	△ 4,682,600	0	△ 112,880	△ 4,795,480
一般正味財産期首残高								269,169,888	269,169,888
一般正味財産期末残高									264,374,408
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									
指定正味財産期首残高									
指定正味財産期末残高						0	0	0	0
III 正味財産期末残高									264,374,408

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当事項はありません。

2. 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。

3. 会計方針の変更
該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当事業年度末残高
基本財産				
定期預金	261,000,000	0	8,000,000	253,000,000
その他	0	0	0	0
小 計	261,000,000	0	8,000,000	253,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-
合 計	261,000,000	0	8,000,000	253,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	当事業年度末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
定期預金	253,000,000	-	-	-
国 債	-	-	-	-
小 計	253,000,000	-	-	-
特定資産				
退職給付資産	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-
合 計	253,000,000	-	-	-

6. 担保に供している資産
担保に供している資産はありません。

7. 保証債務等の偶発債務
該当事項はありません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項はありません。
9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当事項はありません。
10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項はありません。
11. 関連当事者との取引の内容
該当事項はありません。
12. 重要な後発事象
該当事項はありません。
13. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項
該当事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しております。
2. 引当金の明細
該当事項はありません。

財 産 目 録

2021年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	当事業年度末残高	使用目的等
I 資産の部			
1. 流動資産			
(普通預金)	高知銀行 本店	11,374,408	事業費および管理費に使用
流動資産合計		11,374,408	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(定期預金)	高知銀行 本店	253,000,000	事業費および管理費に使用 (余剰資金の運用)
基本財産合計		253,000,000	
(2)特定資産		0	
(3)その他固定資産		0	
固定資産合計		253,000,000	
資産合計		264,374,408	
II 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負債合計		0	
正味財産		264,374,408	

収支計算書

令和2年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入	20,790	22,224	1,434
定期預金利息	20,790	22,224	1,434
②雑収入	30	107	77
普通預金利息	30	107	77
③補助金等収入	0	0	0
④その他	0	0	0
事業活動収入計	20,820	22,331	1,511
2. 事業活動支出			0
①事業費支出	12,160,000	4,682,600	△ 7,477,400
支払助成金	4,600,000	2,700,000	△ 1,900,000
支払寄付金	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
支払手数料	30,000	19,910	△ 10,090
会議費	7,530,000	1,962,690	△ 5,567,310
その他	0	0	0
②管理費支出	120,000	75,211	△ 44,789
会議費	0	0	0
雑費	100,000	74,661	△ 25,339
図書新聞費	0	0	0
支払手数料	20,000	550	△ 19,450
消耗品費	0	0	0
事業活動支出計	12,280,000	4,757,811	△ 7,522,189
法人税、住民税及び事業税	60,000	60,000	0
事業活動収支差額	△ 12,319,180	△ 4,795,480	7,523,700
II 投資活動収支の部			0
1. 投資活動収入			0
①投資有価証券売却収入	0	0	0
②基本財産取崩収入	8,000,000	8,000,000	0
投資活動収入計	8,000,000	8,000,000	0
2. 投資活動支出			0
①投資有価証券取得支出	0	0	0
②その他	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	8,000,000	8,000,000	0
III 財務活動収支の部			0
1. 財務活動収入			0
①借入金収入	0	0	0
2. 財務活動支出			0
①借入金返済支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	△ 4,319,180	3,204,520	7,523,700
前期繰越収支差額	8,169,888	8,169,888	0
次期繰越収支差額	3,850,708	11,374,408	7,523,700

注記事項

1. 借入金限度額 0円
2. 債務負担額 0円

監 査 報 告 書

令和3年5月18日

一般財団法人 高銀地域経済振興財団

理事長 森下 勝彦 殿

一般財団法人 高銀地域経済振興財団

監事 川崎 真二

私は、一般財団法人高銀地域経済振興財団の2020年4月1日から2021年3月31日までの財務諸表、すなわち、令和元年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下、「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、わが国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、わが国において一般的に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、一般財団法人高銀地域経済振興財団の2021年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（2005年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、一般財団法人高銀地域経済振興財団の令和元年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

一般財団法人高銀地域経済振興財団と私との間には、特段の利害関係はない。

以 上